

◆2026年度 中学入試 第3回【国語】 正答率・問いのねらい・講評

大問	問	正答率		問いの内容・ねらい	講評
		受験者	合格者		
一	①	74.5%	83.3%	【漢字の書き取り】 小学校6年生までの学習範囲で、基本的な漢字の知識を問う。	④「心肺」を「心配」と誤答するものが多かった。前後の文脈を捉えることが困難な様子が見受けられた。3日間を通して、字画の乱れが散見された。受験者には、字画や字義を日頃から考えて書くことを心がけてほしい。
	②	94.2%	97.6%		
	③	91.5%	97.6%		
	④	56.4%	76.2%		
	⑤	86.1%	95.2%		
	⑥	74.5%	81.0%		
	⑦	73.0%	92.9%		
	⑧	89.6%	95.2%		
二	問一A	82.6%	85.7%	【説明的文章】 未来の社会像は民主主義のもとで共同意思決定により形成されるべきであり、そのためには選挙だけでなく、市民の自立と信頼、連帯による社会参加が不可欠だと説いている。未来は誰にもわからないからこそ、みんなで話し合って決めていく必要があり、社会の一員としての責任と役割を考えるきっかけになる文章であった。 〔問四〕では、民主主義の実現のために社会の一員として為すべきことは何かを答える問い。本文中の表現を言い換えつつ必要な要素を一文にまとめさせるねらい。	〔問四〕記述 設問に「実現するために必要なこと」とあり、本文中からこれと同様の表現を見つけ出すことができれば解答は容易であった。ただ、根拠となる範囲が広いので、一文で端的にまとめる力も試される問題であった。 〔問六〕選択 傍線部理由説明問題。 政治システムの役割を同じ段落から読み取ることができれば正答できた。誤答の選択肢の内容は本文中に記述がまったくないので、傍線部の直前から根拠を拾えた受験生は迷わずに正解ができたと思われる。
	問一B	60.2%	66.7%		
	問一C	60.2%	57.1%		
	問一D	59.1%	71.4%		
	問二	63.7%	78.6%		
	問三	26.6%	31.0%		
	問四	61.0%	66.7%		
	問五	64.1%	78.6%		
	問六	69.5%	81.0%		
	問七ア	83.4%	81.0%		
	問七イ	76.1%	81.0%		
	問七ウ	62.9%	71.4%		
	問七エ	68.3%	71.4%		
問七オ	78.0%	88.1%			
三	問一A	73.7%	85.7%	【文学的文章】 一人になることを恐れ、周囲にただ合わせて過ごしていた主人公が、アイドルを目指すという夢に出会うまでの物語。できごと（状況）と心情の対応を丁寧に読む力を問うた。思考力を問う問題（問八）では、登場人物が物語の中で果たす役割を問うことで、それまでの部分的な読解を統合し、物語の構造に注目させるねらい。	〔問五〕記述。 「～とあるが、どういうことか」という設問文の指示に従い、傍線部をよりわかりやすく説明させるオーソドックスな問題。主人公の心情の変化を、変化前の状態・きっかけとなる出来事・変化後の心情という流れで因果関係を踏まえて説明できた答案が得点できた。 〔問七〕情景描写の効果を問う問題。情景描写の具体的な叙述を根拠に判断し、表現の射程を逸脱した選択肢を見抜く力を測った。文学を問題として処理する際は、想像を広げ過ぎず、本文の叙述に即して判断する姿勢が重要である。
	問一B	92.7%	95.2%		
	問二	37.8%	38.1%		
	問三	85.7%	97.6%		
	問四	62.2%	81.0%		
	問五	65.3%	78.6%		
	問六	87.3%	97.6%		
	問七	54.4%	69.0%		
	問八X	86.5%	85.7%		
	問八Y	40.9%	64.3%		
問八Z	60.2%	71.4%			